

立真会

明てつよ 坂本公本
原三谷渡
質問者 坂本公本
所属議員 原三谷渡

医学生への助成金制度の創設について

議員 市民病院の医師不足解消のためにも、医師を目指す学生への助成金制度を創設してはどうか。

健康福祉部長 医学生が臨床研修の後に配属される診療科と、病院が希望していた診療科に相違があった時、奨学金の返還をどうするか、などの課題もあり、今後他市の調査研究を行っていききたい。

笠岡ブランドの認定制度について

議員 笠岡ブランドを今後どのようにPRし、活用す

るのか、またこれから新たに認定するとなれば、その認定方法とあり方についてどのようにしていくのかたずねる。

市長 今後市民によるブランド協議会において、ブランドの認定方法とあり方を明らかにし、また周知・活用方法について検討していくので、本市としては、その協議会の運営を支援しながら提案を真摯に受けとめブランドの認定基準、認定方法等について検討していきたいと考えている。



スポーツ顕彰制度の創設について

議員 今後スポーツの振興を図り、選手の士気の高揚

にもつなげるため、素晴らしい成果を上げられた方々を何らかの方法で顕彰し、広く周知していく必要があると考えるが、どうか。

市長 これまでに激励会や広報紙、ホームページ等での顕彰をしてはいるが、制度の創設については今後検討していきたい。

ほかに★市政運営の考え方について質問しました。

定住促進政策と施策の実効性について

希望クラブ

質問者 竹原泉
所属議員 奥野泰久

議員 定住促進政策をより実効性あるものとするために何が必要かをたずねる。
市長 特に定住促進してい

ただきたい若年層のニーズを的確に把握した施策の充実・展開に努め、他市町との差別化を図りたい。それと同時に、そういった施策があることを幅広く知っていただくことも必要と考えている。

笠岡市の対外的アピールとその一環としての「ひまわりプロジェクト」について

議員 福島から提案された「ひまわりプロジェクト」事業は被災地福島と、瀬戸内の環境豊かな本市との「大空で結ぶ支援と交流の友好の架け橋」として絶好のアピールとなる。これを実りあるものとするための本市の考えをたずねる。

市長 単なるイベントとしてではなく、復興支援事業、福島市民との交流事業として、種の収穫等に多くの市民の方々に携わっていただきたいと考えており、今後関係者と協議していきたい。

被災地の子どもへの保養受入れについて

議員 夏休み等を利用して一定期間放射線量のない他の自治体に移動学習、交流授業として滞在すれば、その地域との交流体験を通して認識・知識が深まる。それと同時に、子どもの健康改善にも大きな保養効果があるとも聞いている。ぜひ本市でも、こういった活動に参加し、支援の手を差し伸べるべきと考えるが、どうか。

市長 大変意義のある活動であると認識しているが、市内には市営の宿泊施設がないのが現状であり、現段階では受入れを想定していない。

